

防災施設視察研修レポート

令和7年9月28日(日)明和町の大淀津波避難タワーと伊勢市防災センターを視察してきました。

● 大淀津波避難タワー

明和町は南海トラフ地震特法の津波避難対策特別措置法の強化地域に指定されており、沿岸部の住民の一時避難場所を確保するため平成27年度から津波避難タワーの整備を進めてきました。

大淀地区は、伊勢湾海岸線沿いで、南海トラフ巨大地震では高さ5m以上の津波が30分以内に到達する想定で、津波避難タワーは令和29年に完成、施設規模は、鉄筋コンクリート造で、建物の高さはおよそ10m、避難スペースはおよそ1,100m²で1,100人程度が避難できる構造となっています。また、備蓄倉庫には簡易トイレや防寒シート、保存水等が備え付けられています。



「大淀津波避難タワー」



「明和町職員による施設の説明」



「防災備蓄倉庫」



「シート取り付け枠」

● 伊勢市防災センター

伊勢市防災センターは、防災について、子どもから大人まで楽しく学べる体験型学習施設となっております。

防災体験学習室は、「防災」「映像」「消火」「避難」「救出」「救命」「備え」の7つのゾーンで構成され、防災について、学べる体験学習施設です。

○ 映像ゾーンでは

年代別の災害映像により、過去の災害の教訓など防災について学びました。

○ 消火ゾーンでは

映像を活用した消火体験装置により、消火器の初期消火を体験しました。

○ 救出ゾーンでは

浸水してくる自動車からの脱出の難しさを体験しました。



「映像ゾーン」



「消火ゾーン」



「脱出ゾーン」



「参加者玄関前にて」